

船舶事故等調査報告書

平成23年8月25日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2011門第63号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成23年2月23日 20時00分ごろ	
発生場所	大分県中津市中津港 中津港北防波堤灯台から真方位213°750m付近 (概位 北緯33°36.7' 東経131°14.7')	
事故等調査の経過	平成23年5月16日、本事故の調査を担当する主管調査官（門司事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等</p> <p>A 押船 <sup>ほうえい</sup> 豊栄丸、150トン 134557、福德海運有限会社</p> <p>B バージ ほうえい、約1,772トン なし、福德海運有限会社</p>	
乗組員等に関する情報	A 船長A、四級海技士（航海） B なし	
死傷者等	なし	
損傷	A プロペラ翼曲損 B 船底擦過傷	
事故等の経過	A船は、船長Aほか6人が乗り組み、B船を押して中津港西部の岸壁に着岸作業中、平成23年2月23日20時00分ごろ、両船が岸壁付近の浅所に乗り揚げた。 船長Aは、ふだん海図に記載されていない浅所に注意し、満潮時に出入港するようにしていたが、荷揚げ作業に遅れを生じないよう満潮を待たずに着岸しようとした。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風 ほとんどなし、視界 良好 海象：波 ほとんどなし、潮汐 上げ潮の初期、潮高 約1.0m、満潮時刻 24時00分ごろ、潮高 約3.0m	
その他の事項	A船の喫水は、船首約3.7m、船尾約4.6mであり、B船の喫水は、船首約5.4m、船尾約6.0mであった。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし A船は、中津港においてB船を押して着岸作業中、船長Aが満潮時を待たずに着岸作業を行ったことから、両船が岸壁付近の浅所に乗り揚げたものと考えられる。
原因	本事故は、夜間、A船が、中津港でB船を押して着岸作業中、船長Aが満潮時を待たずに着岸作業を行ったため、両船が岸壁付近の浅所に乗り揚げたことにより発生したものと考えられる。	